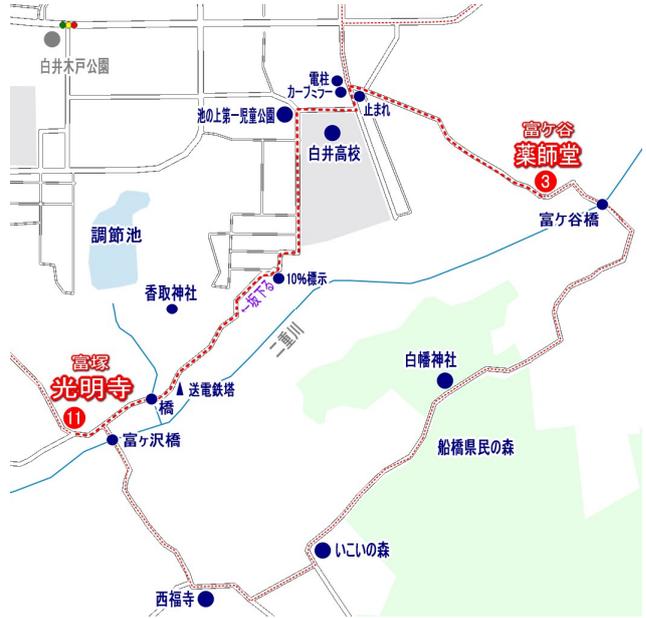


白井大師 第22番 富ヶ沢・光明寺

- 1 名称 (No.022) 〔大11：富ヶ澤〕〔昭63：光明寺〕〔平08：光明寺〕〔平17：光明寺〕
- 2 場所 白井市復243 光明寺
 富ヶ谷・薬師堂から道程約1,560m
 富ヶ谷・薬師堂から船橋県民の森経由なら平坦だが道程約2,020m。
 GPS座標 35.77210680261371, 140.04978819872716
- 3 由緒 天台宗 宗照山 光明寺
 復村字下にあり 天台宗にして泉倉寺末なり 彌陀如来を本尊とす 由緒不詳 檀徒56人 (印旛郡誌)
- 4 御堂 吉橋大師第64番と第65番の大師堂の中に浮彫の御大師様が各1体あり。第64番は文政6年(1823年)、第65番は天保5年(1834年)の銘があります。(白井町調査報告書)
- 5 境内 南に開けた明るい境内で山門と本堂、六地藏などがある。
- 6 写真 (2023.11撮影)



(1) 第64番大師堂



第64番大師堂



第64番御大師様



第64番大師堂

(2) 第65番大師堂



第65番大師堂



第65番御大師様



第65番大師堂

(3) 本堂など



第64番(左)、第65番(右)



光明寺山門と本堂



光明寺本堂

7 情報

(1) 四国八十八ヶ所 第22番 平等寺 御詠歌

平等に 隔てのなきと 聞く時は あら頼もしき 仏とぞみる
 高野山真言宗 白水山(はくすいざん) 医王院 平等寺(びょうどうじ)
 本尊 薬師如来 徳島県阿南市

(2) 四国八十八ヶ所 第64番 前神寺 御詠歌 (吉橋大師第64番)

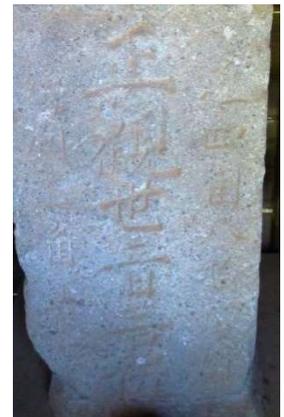
前は神 後は仏 極楽の よろずの罪を くだくいしづち
 真言宗石鉄派 石鉄山(いしづちざん) 金色院 前神寺(まえがみじ)
 本尊 阿弥陀如来 (愛媛県西条市)

(3) 四国八十八ヶ所 第65番 三角寺 御詠歌 (吉橋大師第65番)

おそろしや 三つの角にも 入るならば 心をまろく 慈悲を念ぜよ
 高野山真言宗 由霊山(ゆれいざん) 慈尊院 三角寺(さんかくじ)
 本尊 十一面観音菩薩 (愛媛県四国中央市)

(4) 御本尊名

お祀りしている石像には、弘法大師像の下に四国の札所の御本尊名が彫られており、第64番は「本尊阿弥陀如来 六拾四番」とあり、四国第64番前神寺と一致しているのですが、第65番は「正観世音菩薩 豫洲三角寺写」とあります。しかし、第65番三角寺の御本尊は十一面観音菩薩です。石像を造立したのは天保5年(1834年)なので、その頃は三角寺の御本尊は聖観音(正観音)菩薩と言われていたのか。観音様であることに違いはありませんが、あえて「正観世音菩薩」とする理由は何だったのでしょうか。



(5) 光明寺と吉橋大師 (2011.07.15広報しろい「歴史のしづく」)

宗照山(しゅうしょうざん)光明寺(こうみょうじ)は、船橋市との市境に近い復地区の富ヶ沢にある古刹です。建物は近年のものですが、寺院に残された文化財から見て鎌倉時代の創建とも考えられる由緒ある寺院です。境内にはさまざまな石造物が在り、特に寛永10年(1633年)に建てられた宝篋印塔(ほうきょういんとう)は、中世以来の呼び名に基づいて「下総國印西庄白井郷」の銘文があり、当地が中世に白井郷に属したことがわかる大切なものです。この宝篋印塔は「白井」の文字を持つ市内最古の石造物でもあります。

光明寺の境内には「第六十四番」「第六十五番」と書かれた祠があり、江戸時代に造られた弘法大師の石像が祭られています。第六十四番の祠の石像には「豫州(よしゅう)前神寺写」と刻まれ、第六十五番の祠の石像には「豫州(よしゅう)三角寺写」とあります。これは四国八十八ヶ所

霊場のうち伊予国(愛媛県)の札所を表すものです。

江戸時代には弘法大師信仰を基に八十八カ所の巡礼が盛んに行われましたが、19世紀になると地元の寺院や堂を四国八十八カ所に模して巡礼することが流行しました。市内でも東葛印旛大師や印西大師、白井大師や平塚村大師と大小さまざまな巡礼が知られますが、光明寺の祠は吉橋大師(よしはしだいし)に属するものです。

吉橋大師は、文化4年(1807年)に八千代市吉橋にある貞福寺(ていふくじ)の住職が開設したものです。当初は下総四郡大師(しもうさしぐんだいし)の名でしたが、文政から天保年間(1818年～43年)までに東葛印旛大師と吉橋大師に分割されたと考えられます。光明寺の大師像はちょうどこの頃に造られたもので、吉橋大師は吉橋地区の人々が中心となって周辺地域の人々と共に講を組織して運営し、それぞれの地域に札所が置かれました。札所は八千代・船橋・習志野・鎌ヶ谷の各市に広がり、市内では唯一光明寺だけが札所となっています。

吉橋大師は春と秋の年2回行われ、100kmの行程を3日から5日間かけて歩きました。終戦直後には数千人の参加があったそうですが、平成7年より巡礼を休止しています。光明寺の祠は吉橋大師の信仰を今も伝えています。(2011.07.15広報しろい「歴史のしずく」より)

(6) 富ヶ沢の辻切り(つじきり)(白井市指定無形民俗文化財)

辻切りとは、邪悪なものが外から侵入しないように地区の境界に設置するものです。富ヶ沢の辻切りは、陰陽道や密教などに由来すると考えられる「鬼鬼鬼 急々如律令」の文字や五芒星、縦横各9本の格子文が書かれた特徴的な木札を下げたもので、市内に他に類例が無い、市内を代表する辻切り行事です。こうした形態の辻切りは千葉県下でも希少なものです。(白井市HPより)